

## 基本方針

これまでの議論を踏まえ、ガイドラインの周知・徹底・点検を行う取組みができないか検討したうえで、必要に応じ、見直しも検討していく。

## 具体策 （案）

- 医療団体からの医師等が記載する際に混乱した等のコメントも参考に、「診断書における項目・選択肢として望ましくない例」を周知のうえ、当該項目等のガイドラインでの規定（可否も含む）について、検討する。
- ガイドラインに記載の無い項目等で、医師の負担軽減に繋がる取組み（例えば、「診断書上に当該項目が必要な理由を補記する」「医療機関発行の領収証等を活用する」等）があれば、ガイドラインへの追加を検討する。
- 必ずしも医師に証明を求めなくても足りる項目については、ガイドライン改定の検討時に、請求者側の負担・モラルリスクへの影響・個社のシステム対応可否等も考慮しながら、診断書の様式からの削除も含め、取扱いを検討する。

## その他

上記取組みを通じて会員会社の診断書の気付きを促すよう好取組例（表現やレイアウト、見やすさ等を含む）の共有等を行う。